

産業

◎請負耕作について

農家の労働力不足、総兼業化のすすむ農家情勢の中で、機械貧乏にブレイキをかけて稲作の効率化安定就業をはかり、規模拡大をねらいとした農地の流動化にテコ入れするため、昭和四十五年に農地法と農協法が改正され、農協で行なう受委託事業が、法的に認められることになりました。

町も昭和四十七年度から県の農協受委託推進事業に参加し、受託組織(集団)の育成を主として事業推進をはかってきました。いわゆるこの事業は、三ない農家(作らない、貸さない、売らない)

種目	料金	種目	料金
ライスセッター	十アール 二〇、〇〇〇円	オペレーター	一カ月 四、〇〇〇円
バインダー	十アール 五、五〇〇円	育苗	一箱 三〇〇円
ハーベスター	十アール 五、七〇〇円	育苗を植付	十アール 一三、五〇〇円
コンバイン	十アール 一〇、〇〇〇円	植付のみ	十アール 八、〇〇〇円
稲すり	一俵 二五〇円	乾燥調整のみ	五五〇円
トラクター	耕起一回廻り 二、五〇〇円		

◎畜産農家の皆さんへ

近年、畜産の著しい進展で、畜産等の産業廃棄物の処理が畜産経営上あるいは家畜衛生上問題となつてきています。特に最近、へい死豚の死体を山林や河川に不法投棄したり、し尿を農

い)が安心して耕作を農協に委託し、適正料金で再委託され、耕作権移動の心配なく請負耕作ができる仕組みです。この主旨を活用し設備の過剰投資を取りやめ、機械稼働率を高めて行こうとするものです。

なお、昭和四十九年度運営協議会で決められた協定料金は、左表のとおりです。

◎家バエ発生を防ぐ方法について

業用水路や河川にたれ流しや投棄がみられます。不法投棄は家畜伝染病の発生の原因や飲料水の汚染、悪臭害虫の発生源ともなりますので、お互いに注意し合い、畜産公害のない明るい町づくりに協力しましょう。

◎家バエ発生を防ぐ方法について

ふん尿悪臭の畜産公害問題について、ハエの発生による公害問題が大きくクローズアップされてきました。町では農協養豚部を主体に各種畜産農家を対象に、家バエ発生防除事業を実施しました。

家バエ一匹は、一回に五十から一五〇個の卵を一生のうち、五回から六回生みます。

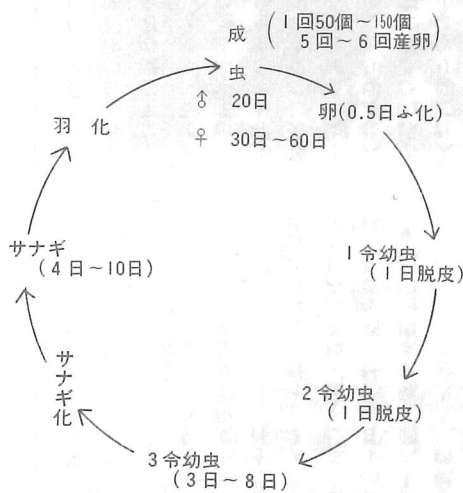
卵は、約半日でふ化し、一令幼虫となり三日から八日間で、二回目の脱皮を行ない、三令幼虫となります。

この幼虫は、表面が固くサナギとなります。

サナギはよく便所の日陰の土の中でみかけます。サナギは四日から十日の間に、羽化しハエとなります。

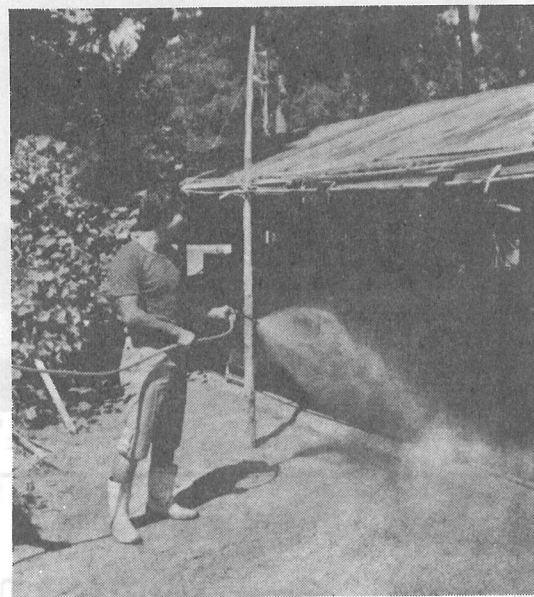
ハエは、数日後交尾して産卵します。薬剤効果はサナギ時代には固い表皮のため効果がありませんが、一番効果のあるのは羽化した時期です。

家バエの一生



ハエはサークルで活動して一回きりの攻撃では防除効果がありません。ハエの発生は衛生的にも悪く、食事時のハエの飛来は人々に不愉快な思いをさせいらいらするものです。「春の一

匹秋の万匹」と言われていますが、ネグボンにより集団反復攻撃でハエの撲滅を行ないましょう。ネグボンは、劇薬ですので保管場所や使用上には十分注意してください。



(白浜地区で行なわれた家バエ防除)